

# 平成25年度 第1回高梁市地域公共交通会議

- ◆川上地域交通再編実証運行
- ◆備中ふれあいタクシーの見直し
- ◆高梁地域公共交通再編

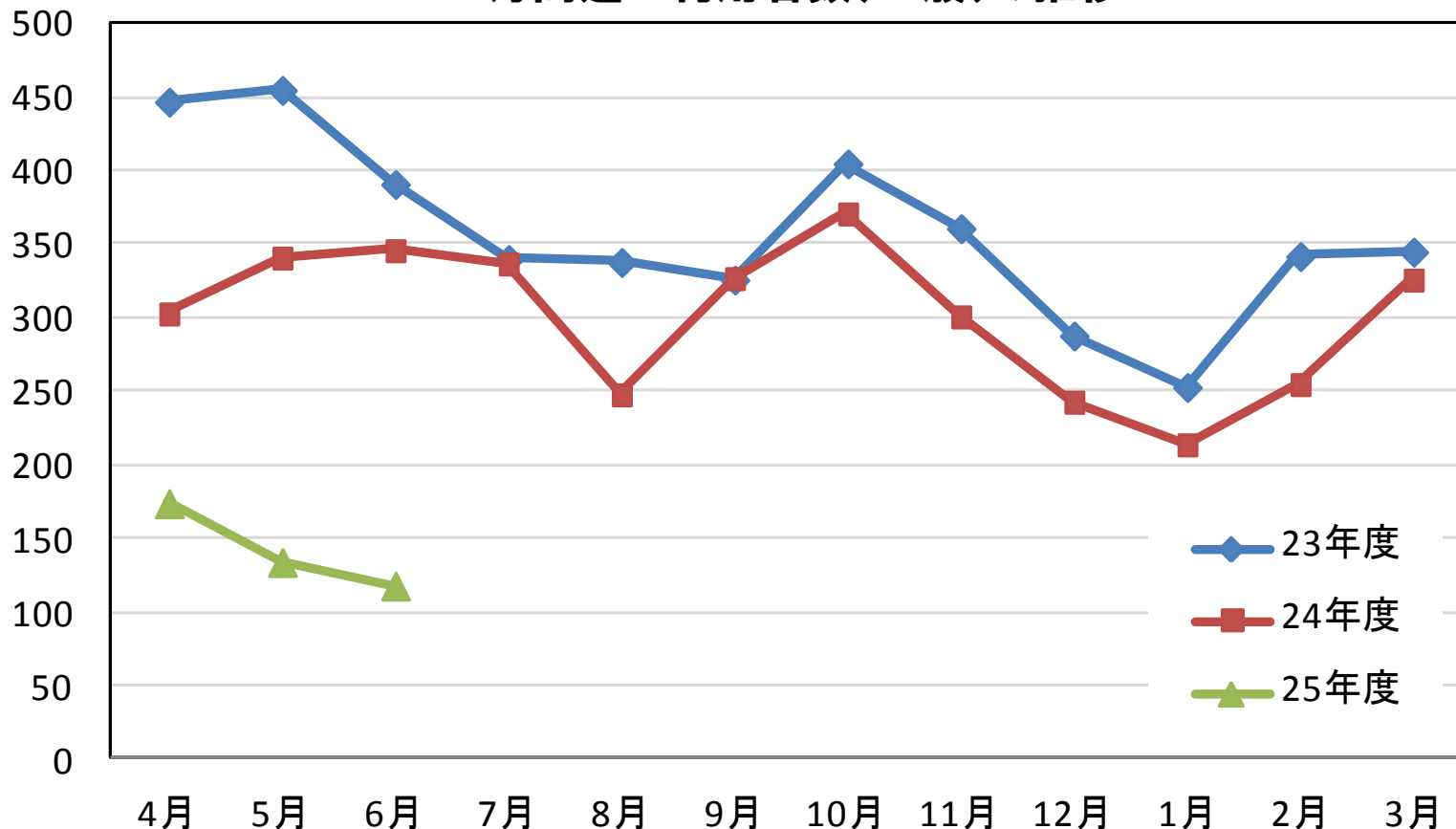
# 1. 川上地域交通再編実証運行

## (1) スクール併用路線利用状況

### ① 一般利用

◆25年4月～6月の延べ利用者数は、高山市線（高山市⇄川上BC）の運行便数を大幅に削減した影響から426人（前年同期比▲57%）と大きく減少。

月間延べ利用者数(一般)の推移



## ②中学生利用

◆登校時は、自家用車送迎が25%（15人）を占め、バス利用は15%（9人）に止まるが、下校時は、バス利用が35%（21人）を占める。

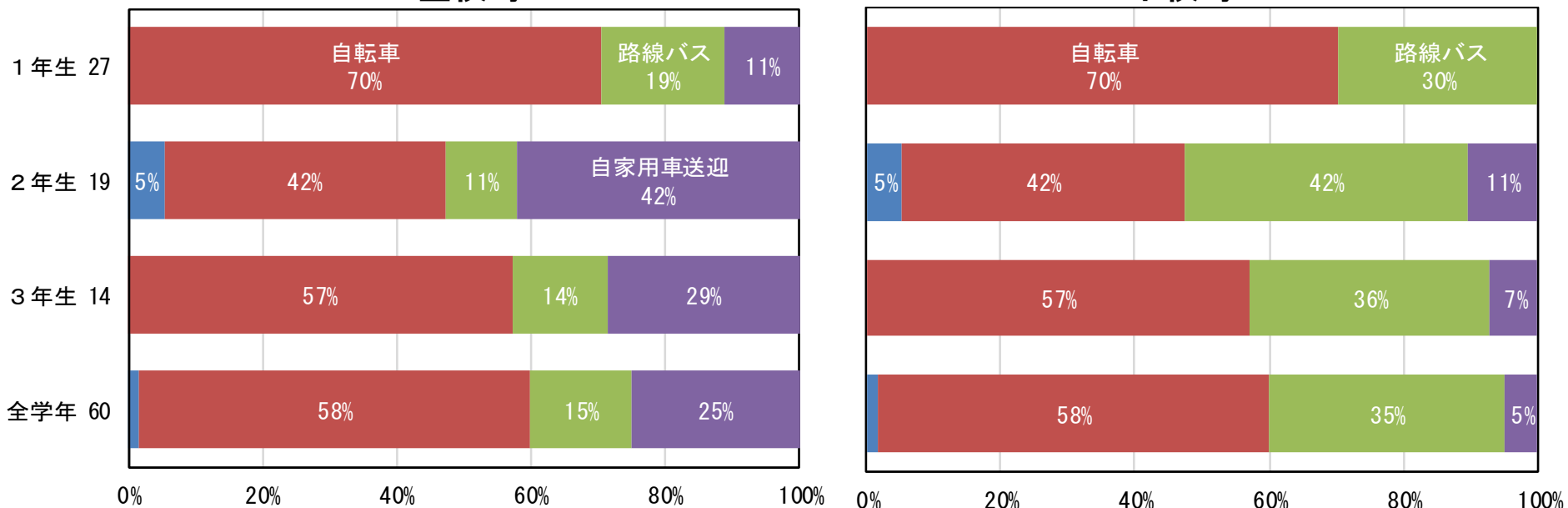
◆部活動の関係で、これまでバスの利用がほとんどなかった状況からすると、大きな前進。

◆年間延べ6,000人（（登校9人＋下校21人）×200日）と試算される利用は、スクール併用路線の一般利用者数（24年度実績3,612人）の1.7倍。

川上中学生の通学手段（25年6月調査）

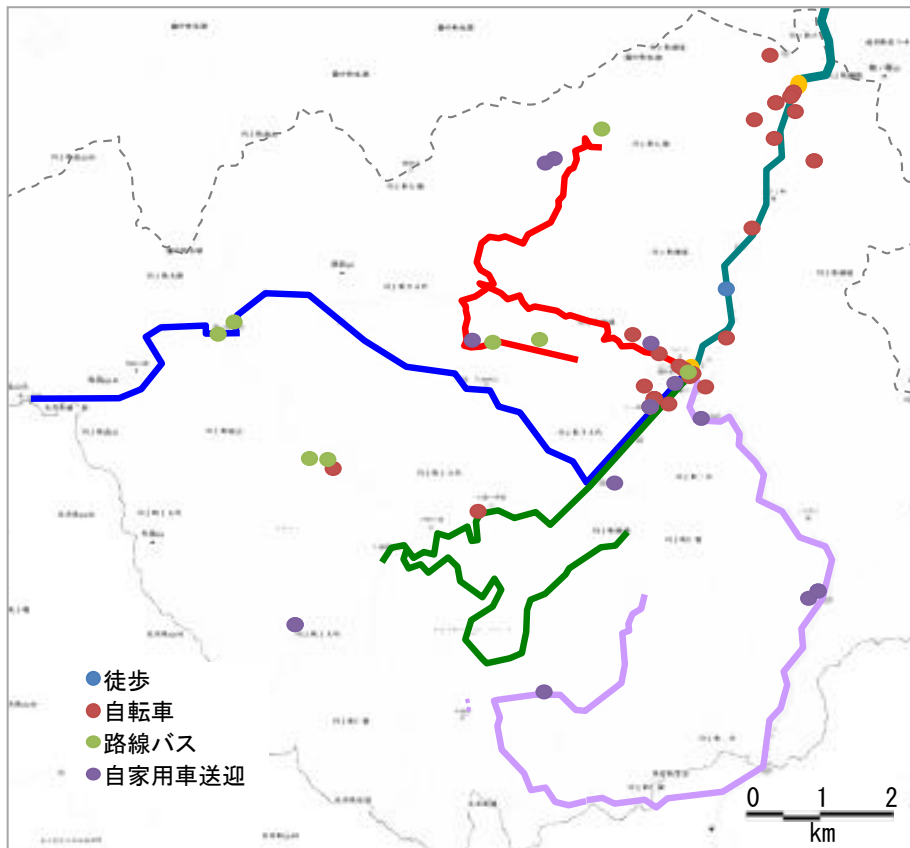
登校時

下校時

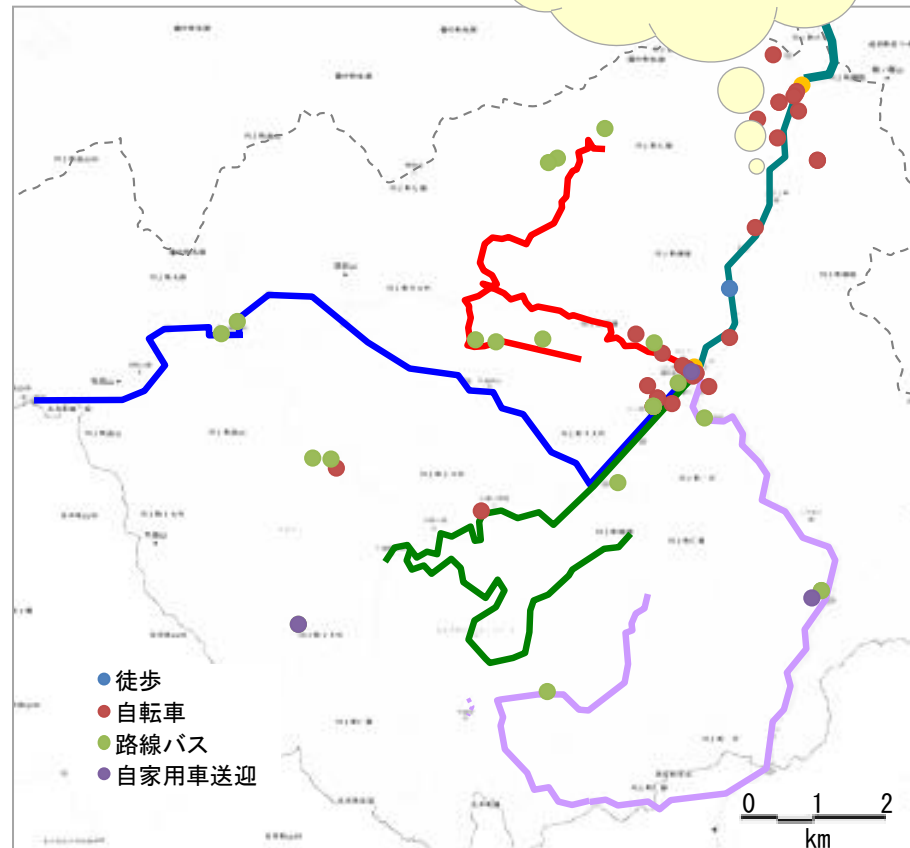


## 川上中学生の通学手段別世帯分布

登校時



下校時

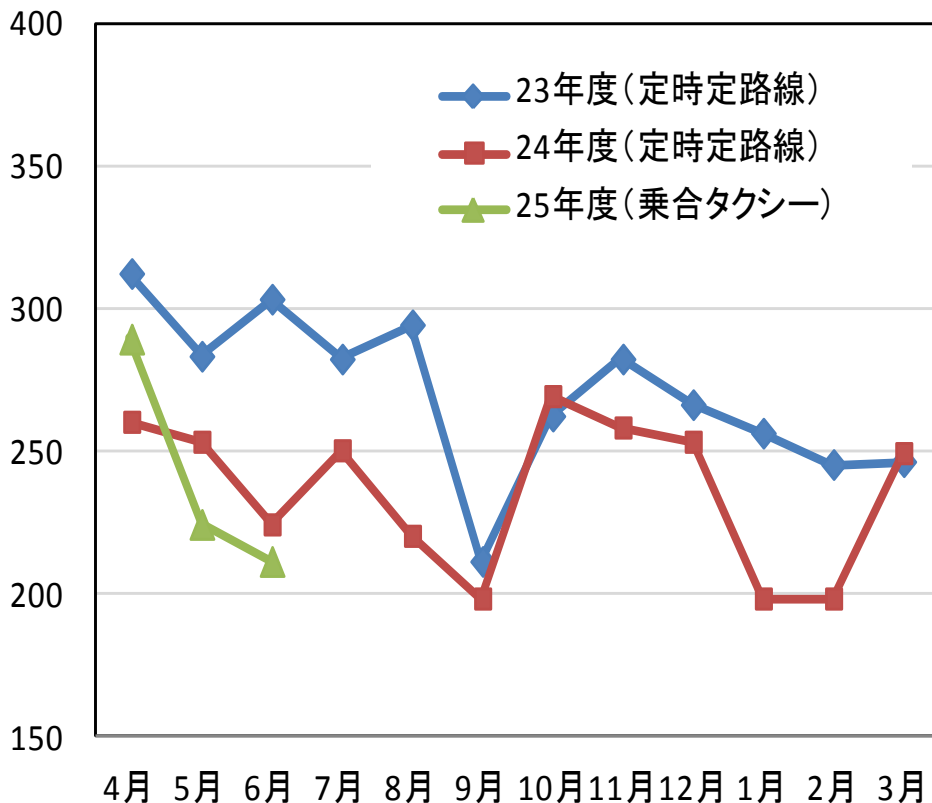


## (2) 川上ふれあいタクシー

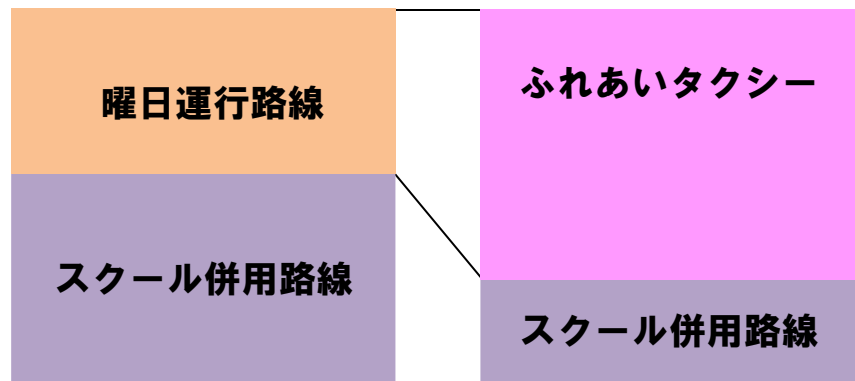
◆25年4月～6月の延べ利用者数は、724人（前年同期比▲2%）とわずかな減少に止まっているが、先のスクール併用路線の減少分をカバーする観点から月300人程度の利用に向けた更なる周知の徹底が必要。

◆地域別では、仁賀、七地の利用が相対的に多い。

### 月間延べ利用者数の推移



### 交通再編に伴う一般利用者数イメージ



### 地域別利用世帯・延べ利用者数 (4-6月)

	南部線		北部線	
	地域	世帯数	地域	世帯数
	領家	3	七地	22
	臘数	4	大原	1
	地頭	3	高山	12
	三沢	2	高山市	1
	仁賀	21	下大竹	11
	上大竹	13	上大竹	2
	不明	1	計	49
	計	47	合計	96

地域	世帯数	延べ利用者数
領家	3	20 (3%)
臘数	4	33 (5%)
地頭	3	24 (3%)
三沢	2	22 (3%)
仁賀	21	178 (25%)
上大竹	13	92 (13%)
不明	1	1 (0%)
計	47	370 (51%)

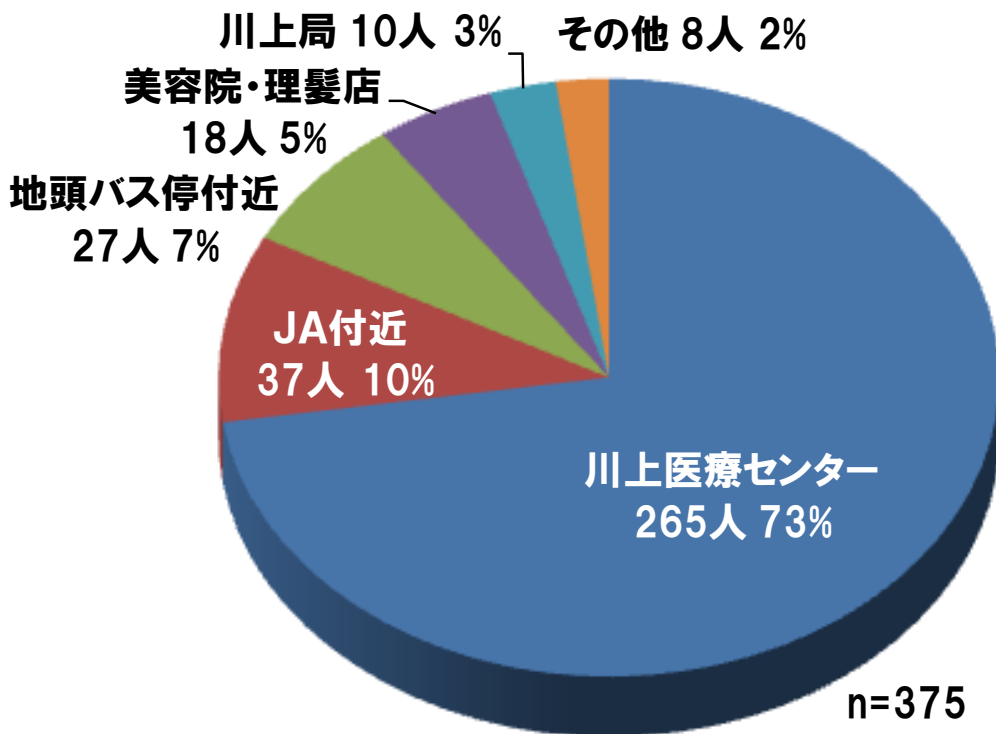
## (2) 川上ふれあいタクシー

◆川上医療センターへの通院利用が73%を占める。

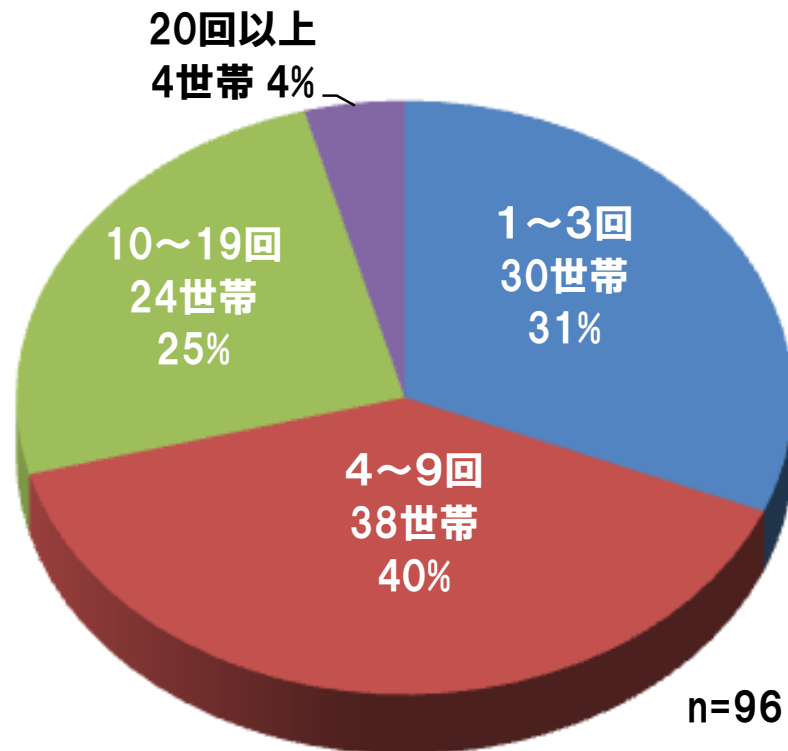
◆9回以下（月平均3回以下：往復利用を考慮すると月1.5日）の利用世帯が7割を占める。

◆20回以上利用の4世帯で延べ利用者数の17.5%を占める。

目的地



世帯利用頻度

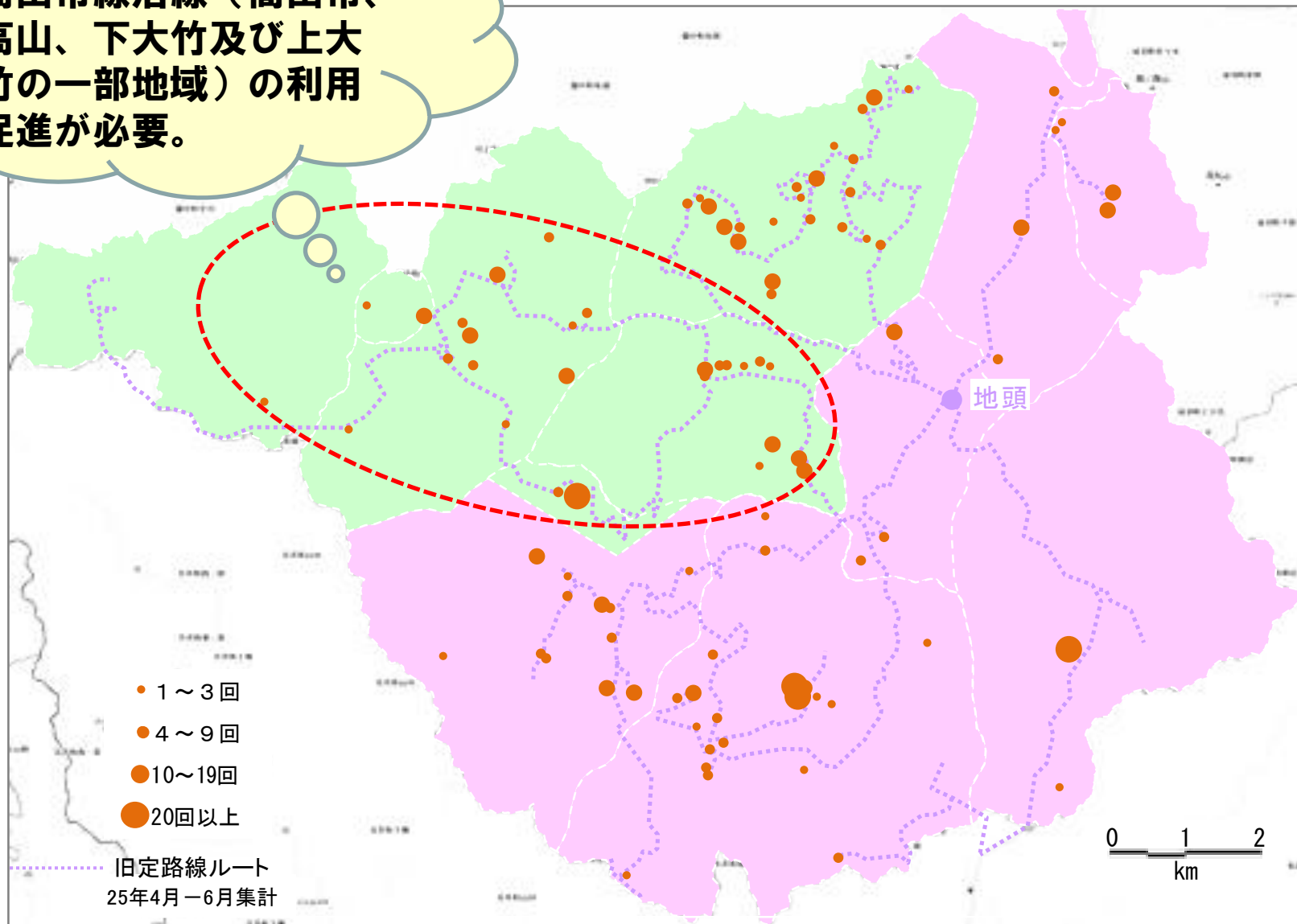


25年4月-6月集計

## (2) 川上ふれあいタクシー

### 利用世帯分布

高山市線沿線（高山市、高山、下大竹及び上大竹の一部地域）の利用促進が必要。



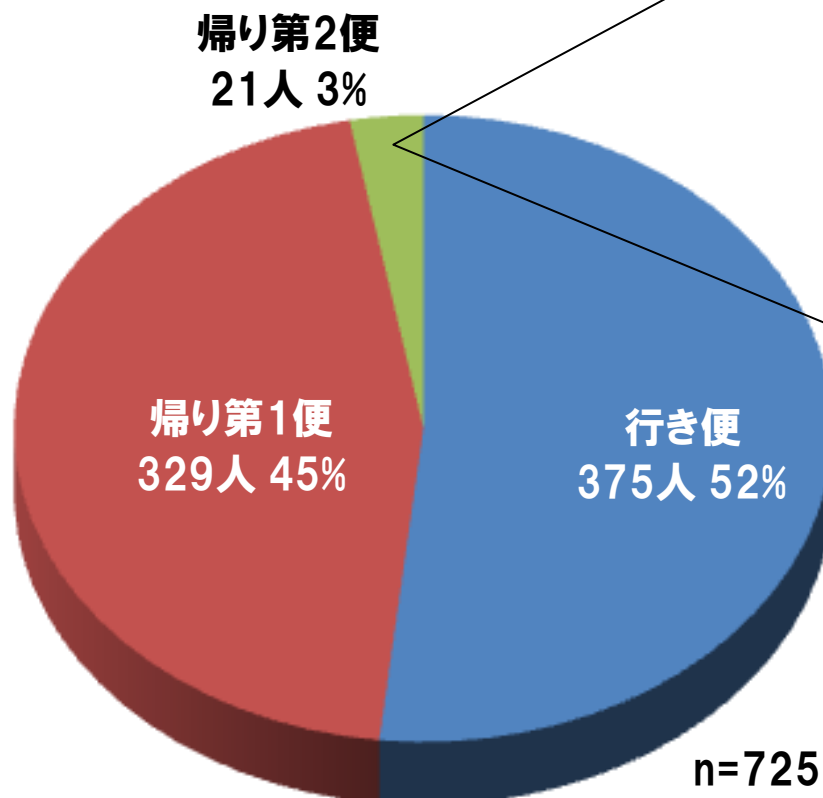
## (2) 川上ふれあいタクシー

◆ほとんどの利用者が往復利用

◆帰り便第2便の利用は3%に止まる

このうちの  
10人が路線  
バスからの  
乗り換えと  
思われる

便別延べ利用者数



帰り第2便利用状況

帰り第2便乗車地	行き便降車地	利用者数
地頭	地頭	9人
地頭	—	4人
地頭	医療C	6人
医療C	医療C	1人
医療C	地頭	1人

### <運行事業者ヒアリング>

- ・医療センターでの診察その他が12時を過ぎたことは、これまで無い。
- ・診察その他が長引いても12時頃までは待っている。
- ・そのため、帰り第1便を第2便に切り替えたことはない。

25年4月－6月集計



# (2) 川上ふれあいタクシー

## 運行ダイヤ変更 (案)

### <変更の視点>

- ◆医療センターの診察その他終了時刻に合わせる
- ◆帰り第2便の利用促進
  - ・高梁滞在時間の延長 (1:50→2:59)

現行ダイヤ



岡山行き利用は4-6月で3件

計画ダイヤ



## (2) 川上ふれあいタクシー

### ダイヤ変更(案)に関する利用者ヒアリング調査

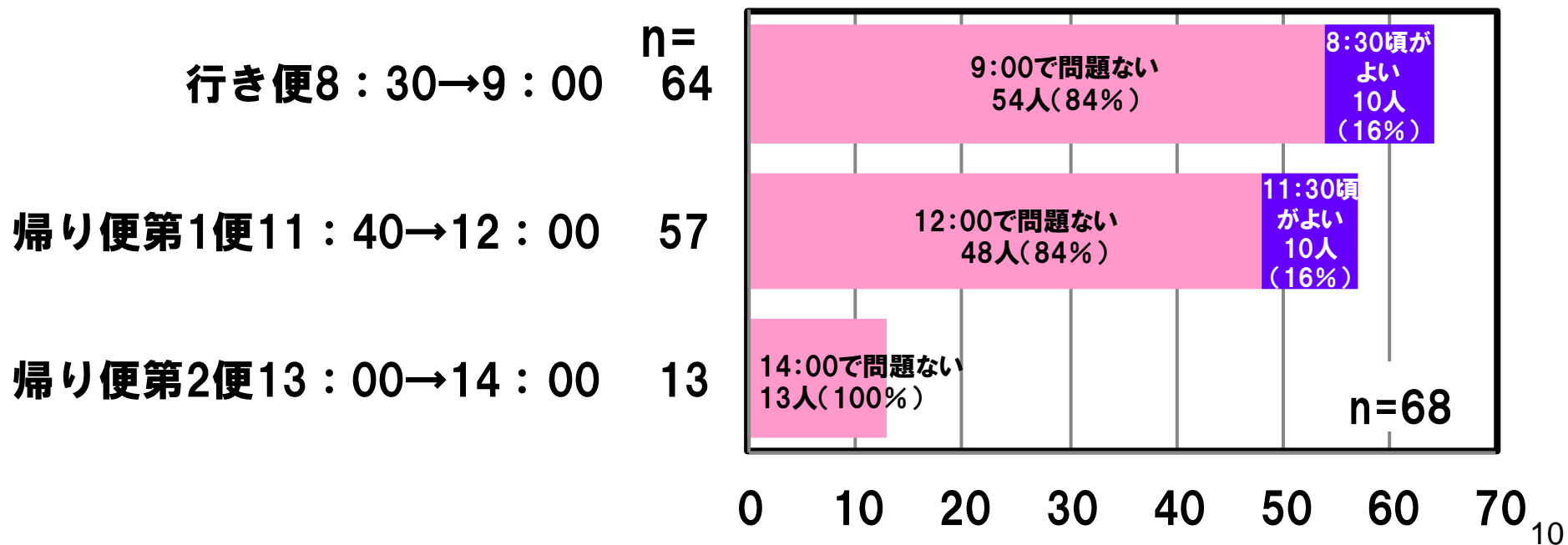
◇調査方法：乗務員による乗客への聞き取り調査(当該便の時刻変更案について)

◇調査期間：7月8日～7月31日◇回答数：68人(4-7月利用者(115人)の59%)

◆回答者の8割以上がダイヤ変更案を容認

◆現行ダイヤまたはダイヤ変更案より30分程度早い時刻の希望者は、全員が領家・臘数在住者(その理由は次ページ)

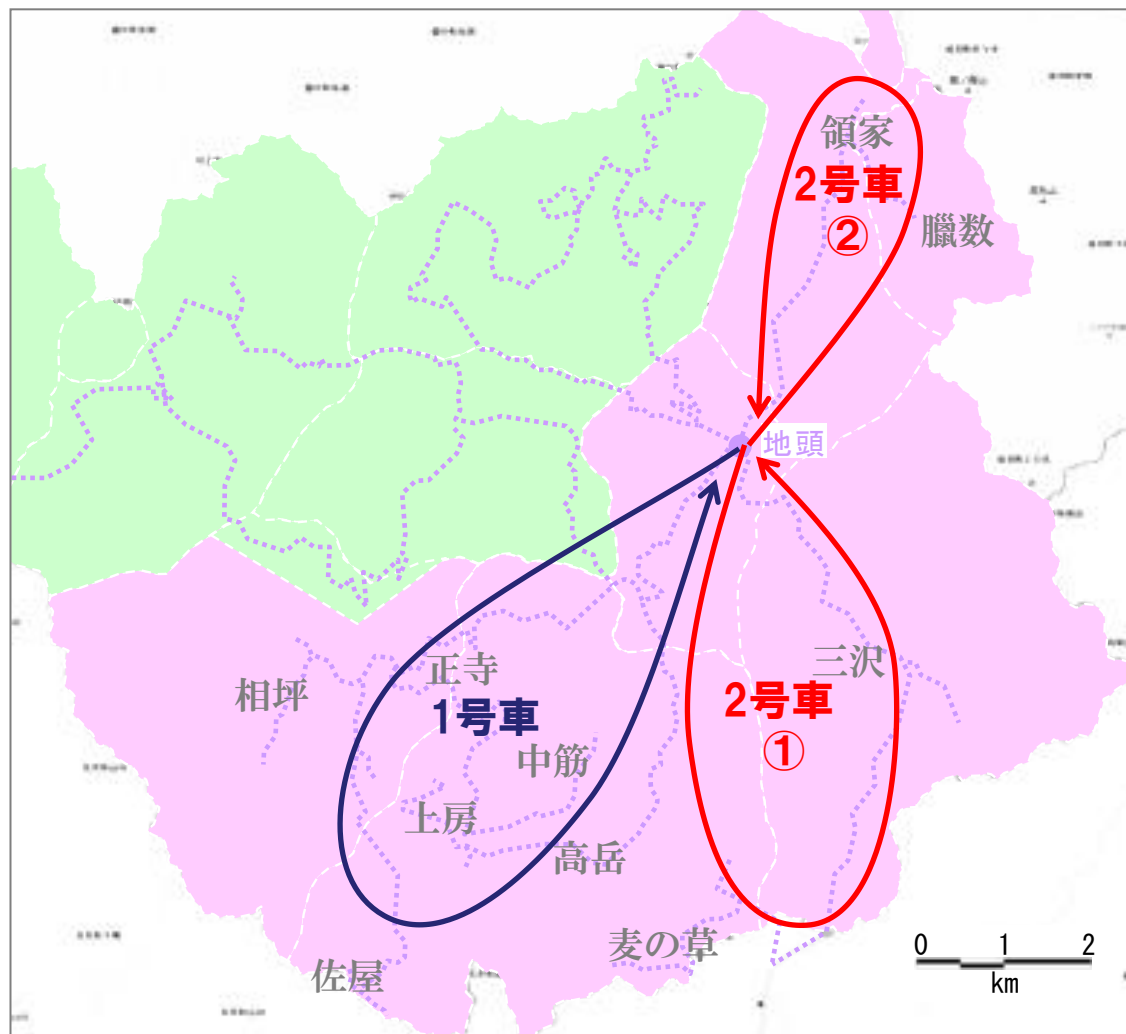
### ダイヤ変更(案)に関する利用者ヒアリング調査結果



## (2) 川上ふれあいタクシー

現行ダイヤまたはダイヤ変更案より30分程度早い時刻の希望者が、全員が領家・臘数在住者である理由

予約者がエリア全域に分布した場合の対応例



予約者が多く、エリア全域に分布した場合の対応例として、左図のように2台の車両のうち1台は、麦の草や三沢方面の予約者を送迎した後に領家・臘数方面の予約者を送迎することを運行事業者に示したため、これまで領家・臘数の利用者は、恒常的に通常時刻より20～30分程度遅く送迎がなされていたことによる。

## (3) 利用促進

### 運行ダイヤ変更案内に合わせて実施

- ・ 運行ダイヤ変更案内パンフレットに利用状況資料や利用方法（又はQ & A・利用提案）等を添付して全戸配布
- ・ 町内会長の協力を得て、対象世帯に利用を呼びかけ
- ・ 高齢者集会等での利用案内を継続

### 高山市沿線地域住民アンケート調査

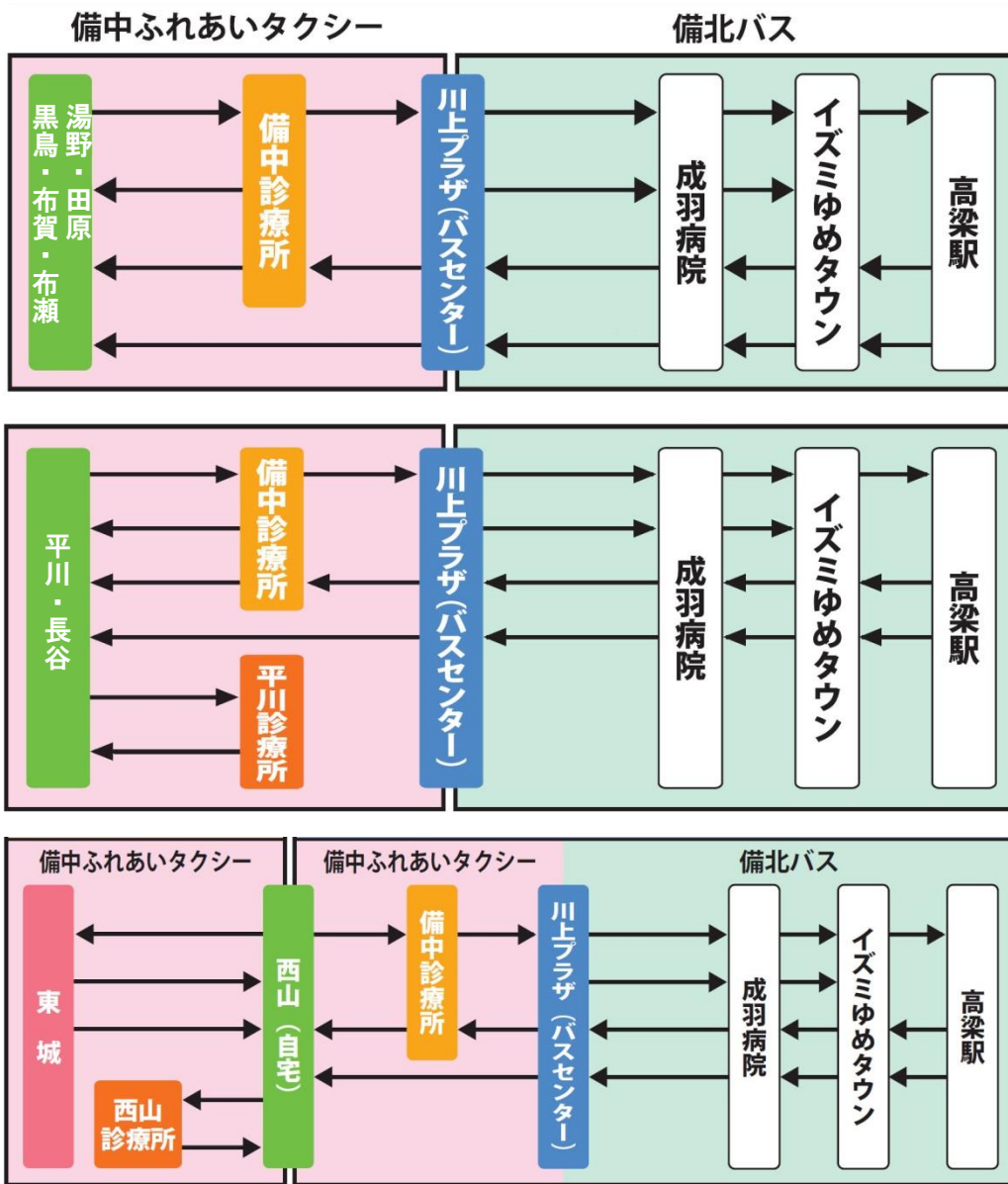
- ・ 大幅な減便となった高山市線沿線地域を対象に住民アンケートを実施し、ふれあいタクシーへの切り替えが進まない原因を探るとともに、アンケートを通じてふれあいタクシーへの理解を深める

# 2. 備中ふれあいタクシー

## (1) 運行区域・運行日・ダイヤ



運行区域	月	火	水	木	金	土
西山					1台 東城	1台 東城
湯野・田原		1台		1台	1台	
布賀・黒鳥 布瀬		1台		1台		
平川・長谷	2台		2台			

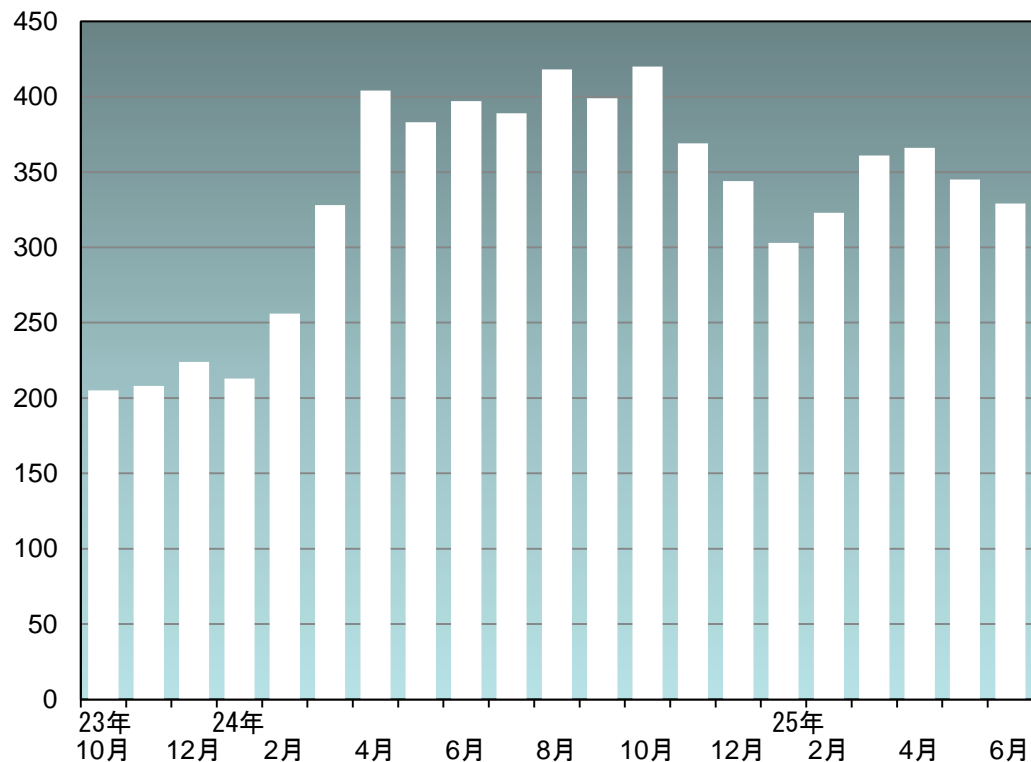


## (2) 利用状況

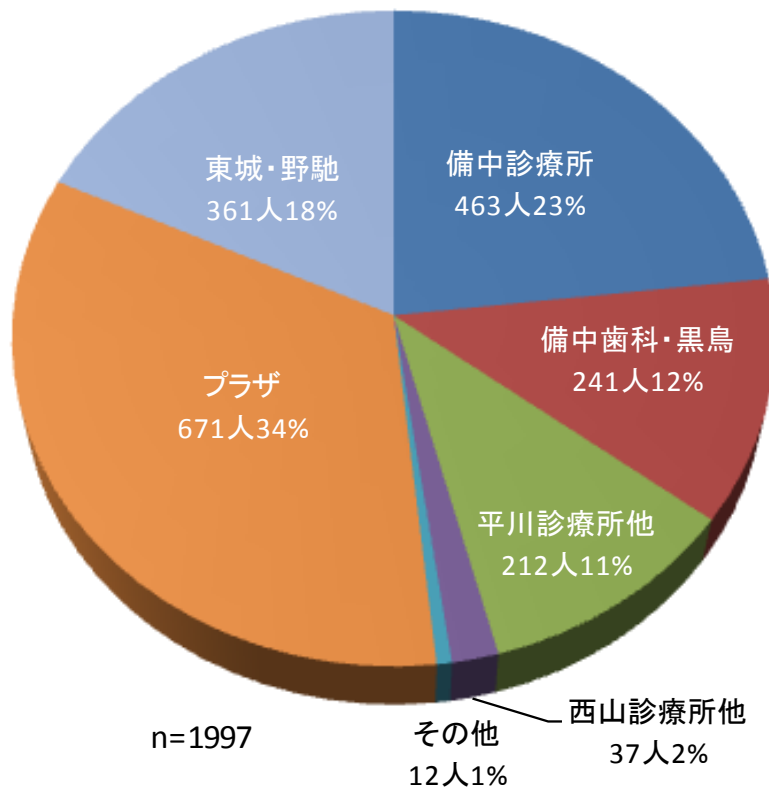
◆月間延べ利用者数は、24年4月～10月は400人前後で推移していたが、季節的要因もあり11月から1月にかけて減少した。その後増加に転じたが、25年4月～6月は月平均347人（前年同期比▲12%）で推移している。

◆利用目的地としては、川上プラザ、東城・野馳など備中地域外が半数以上を占める。

### 月間延べ利用者数の推移



### 利用目的地（24年7月～25年6月）



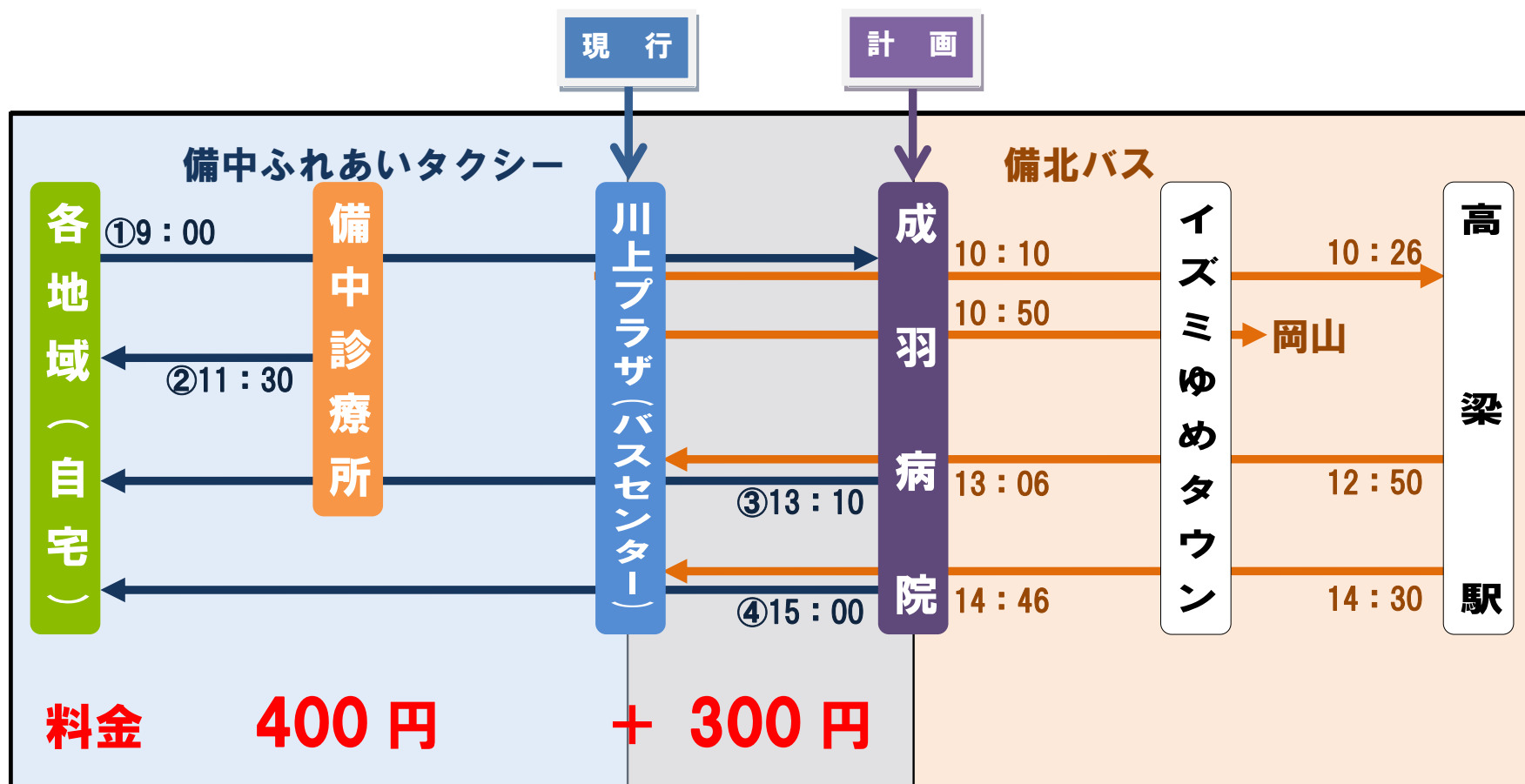
### (3) 路線延長計画 (案)

#### 成羽病院まで路線延長

■運行日・ダイヤ：変更なし

■料金：備中地域⇔成羽病院**700円**（川上プラザ⇔成羽病院**300円**）

（注）川上プラザ-成羽病院間乗降禁止



# 3. 高梁地域公共交通再編

## 25年度スケジュール

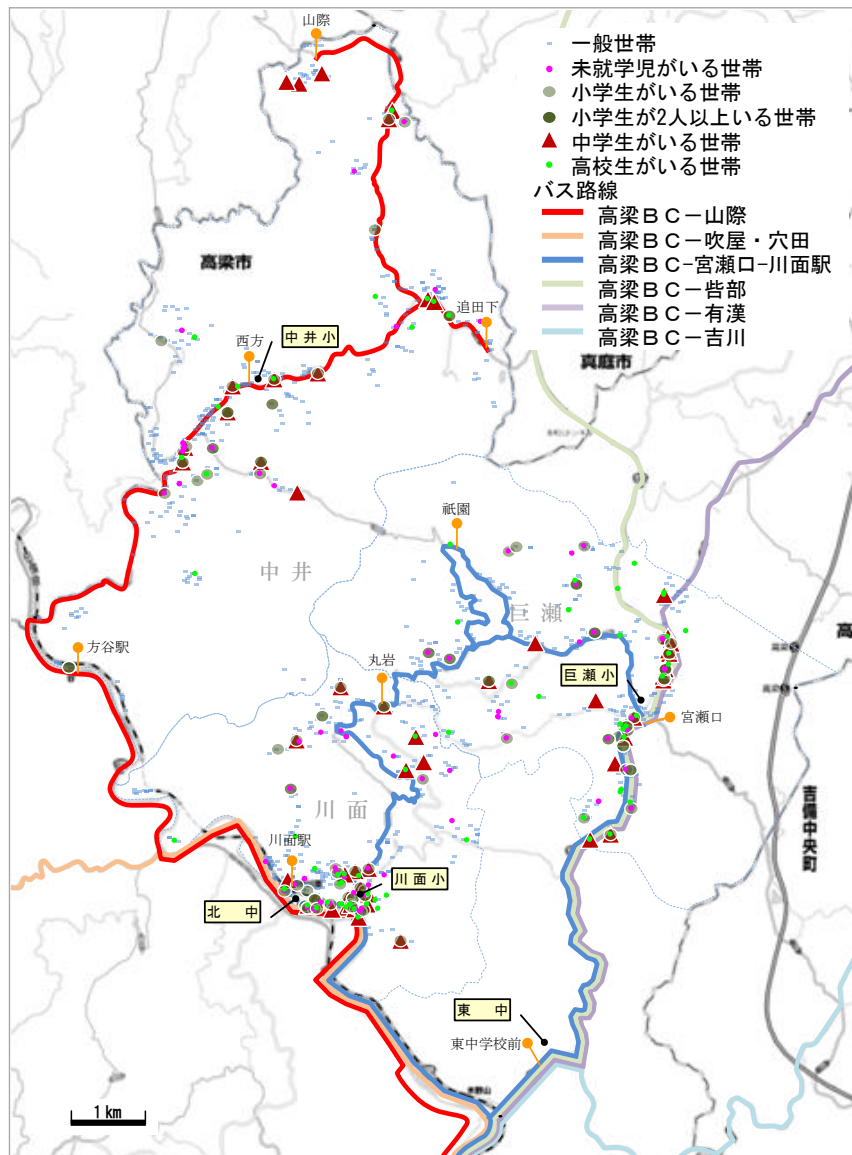
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
川上地域実証運行													
利用状況調査・分析・検討			■	■					■	■			
利用者ヒアリング				■									
住民アンケート						■							高山市線沿線
利用促進						■						■	パンフ等作成
生活福祉バス・乗合タクシー													本格運行路線
利用状況調査・分析・検討				■						■			
中井・川面・巨瀬地域公共交通再編													中山間地域交通手段モデル事業
現地調査・ヒアリング				■	■								
路線バス通学利用状況調査・分析					■	■							小学校3、中学校2
路線バス住民利用状況調査・分析						■	■						町内会長
再編計画案作成								■	■	■			
交通会議					●				●		●		



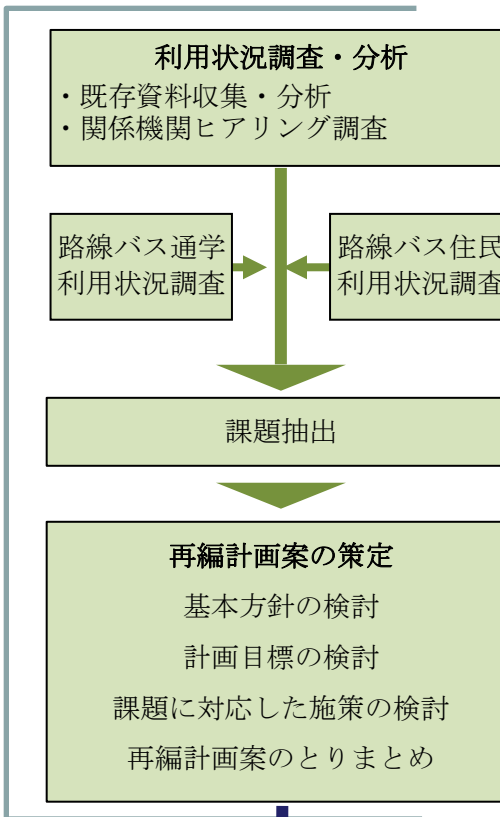
# 3. 高梁地域公共交通再編

## 中井・川面・巨瀬地域（25年度岡山県中山間地域交通手段モデル事業）

中井・川面・巨瀬地域の公共交通と世帯分布



25年度



26年度

